

平成 19 年 2 月期 決算説明会

平成 19 年 4 月 11 日

株式会社サンワドー

<http://www.sanwado.com>

平成 19 年 2 月期の総括

当連結会計期間の売上は、地場の消費が停滞する中、記録的な暖冬の影響で季節関連商品が前年を下回りましたが、ザ・サンワ柏店効果と業務スーパーの底堅い伸び、昨年店舗網を拡大した子会社ワールドジャンボの貢献により、30,967百万円(前年比 100.1%)と前年実績を上回ることができました。

収益面では、中期経営計画の柱となっている粗利率が前期比0.8ポイント改善し、経常利益は前年同期比135.8%の338百万円と2期連続の増益となりました。

また、今期は業務スーパー下田店(18年4月)、アップガレージ八戸店(18年10月)、ザ・サンワ弘前樋の口店(18年12月)を新規出店するとともに、八食店を1,000坪増床し、地域のお客さまのニーズにきめ細かく対応できる体制を整えました。

連結会社概要

社名	所在地	資本金	事業内容	株式会社サンワドー持株比率(%)
株式会社ワールドジャンボ	青森県	10百万円	カー用品販売	100%
三和部品株式会社	青森県	10百万円	カー用品卸売業	100%

平成19年2月期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比	備考
売上高	30,967	30,934	100.1%	食品 108%(うち業務スーパー 116.6%) DIY 109%、園芸 102%、ブランド 90%、家電 93%
売上総利益	6,919	6,636	104.3%	粗利率0.8%改善
販管費	6,552	6,366	102.9%	新店経費 120、ポイントカード販促費 59
営業利益	366	269	136.0%	
経常利益	338	249	135.8%	ROA 1.7%
当期純利益	187	129	145.5%	ROE 4.1%

(注1) ROA = 経常利益 ÷ 総資産

(注2) ROE = 当期利益 ÷ 純資産

平成19年2月期要約貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産の部				負債／純資産の部			
	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比		当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比
流動資産	6,683	6,539	102.2%	流動負債	9,929	10,398	95.5%
棚卸資産	5,373	5,061	106.2%	短期借入金	1,650	3,050	54.1%
				一年以内返済予定 長期借入金	2,031	2,008	101.1%
固定資産	13,453	12,737	105.6%	一年以内償還予定社債	900	600	150.0%
有形固定資産	8,531	8,082	105.6%	固定負債	5,621	4,393	128.0%
無形固定資産	23	23	98.7%	社債	3,130	2,580	121.3%
投資その他の資産	4,898	4,631	105.8%	長期借入金	2,302	1,632	141.0%
				負債合計	15,550	14,791	105.1%
				純資産合計	4,586	4,485	102.3%
資産合計	20,137	19,277	104.5%	負債及び純資産合計	20,137	19,277	104.5%

平成19年2月期損益計算書(会社別)

(単位:百万円)

	(株)サンワドー			(株)ワールドジャンボ			三和部品(株)			修正		合計	
	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期比	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)
売上高	28,916	29,022	99.6%	1,677	1,488	112.7%	476	504	94.5%	▲ 103	▲ 80	30,967	30,934
売上総利益	6,315	6,095	103.6%	524	455	115.0%	81	86	94.6%	▲ 1	▲ 1	6,919	6,636
販管費	6,041	5,910	102.2%	483	427	113.3%	74	77	97.0%	▲ 47	▲ 48	6,552	6,366
営業利益	273	184	148.5%	40	28	140.9%	6	9	73.9%	46	47	366	269
経常利益	292	210	138.6%	42	31	134.5%	7	9	74.7%	▲ 2	▲ 2	338	249
当期純利益	160	107	149.0%	24	16	145.7%	4	6	75.9%	▲ 2	▲ 2	187	129

キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)

	当期 (19年2月期)	前期 (18年2月期)	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	13	862	▲849
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲201	129	▲331
財務活動によるキャッシュ・フロー	41	▲881	923
現金及び現金同等物の増減額	▲147	110	▲257
現金及び現金同等物期首残高	856	746	110
現金及び現金同等物期末残高	709	856	▲147

連結 部門別売上高

(単位:百万円)

	16年2月期	増減比	17年2月期	増減比	18年2月期	増減比	19年2月期	増減比
リビング	9,812	▲11.6%	8,766	▲10.7%	8,319	▲5.1%	8,246	▲0.9%
カー・レジャー	5,178	▲10.9%	4,740	▲8.5%	4,791	1.1%	4,785	▲0.1%
食品	2,574	20.1%	3,853	49.7%	4,088	6.1%	4,402	7.7%
ペット&グリーン	3,715	▲6.7%	3,797	2.2%	4,301	13.3%	4,379	1.8%
家電	3,398	▲20.7%	3,068	▲9.7%	3,105	1.2%	2,881	▲7.2%
DIY	1,828	4.8%	2,091	14.4%	2,304	10.2%	2,521	9.4%
ブランド	3,565	▲3.8%	2,968	▲16.7%	2,715	▲8.5%	2,451	▲9.7%
その他	1,624	▲2.0%	1,432	▲11.8%	1,309	▲8.6%	1,300	▲0.6%
合計	31,698	▲8.0%	30,717	▲3.1%	30,934	0.7%	30,967	0.1%

連結 部門別売上高構成表



部門の構成内容は次のとおりであります。

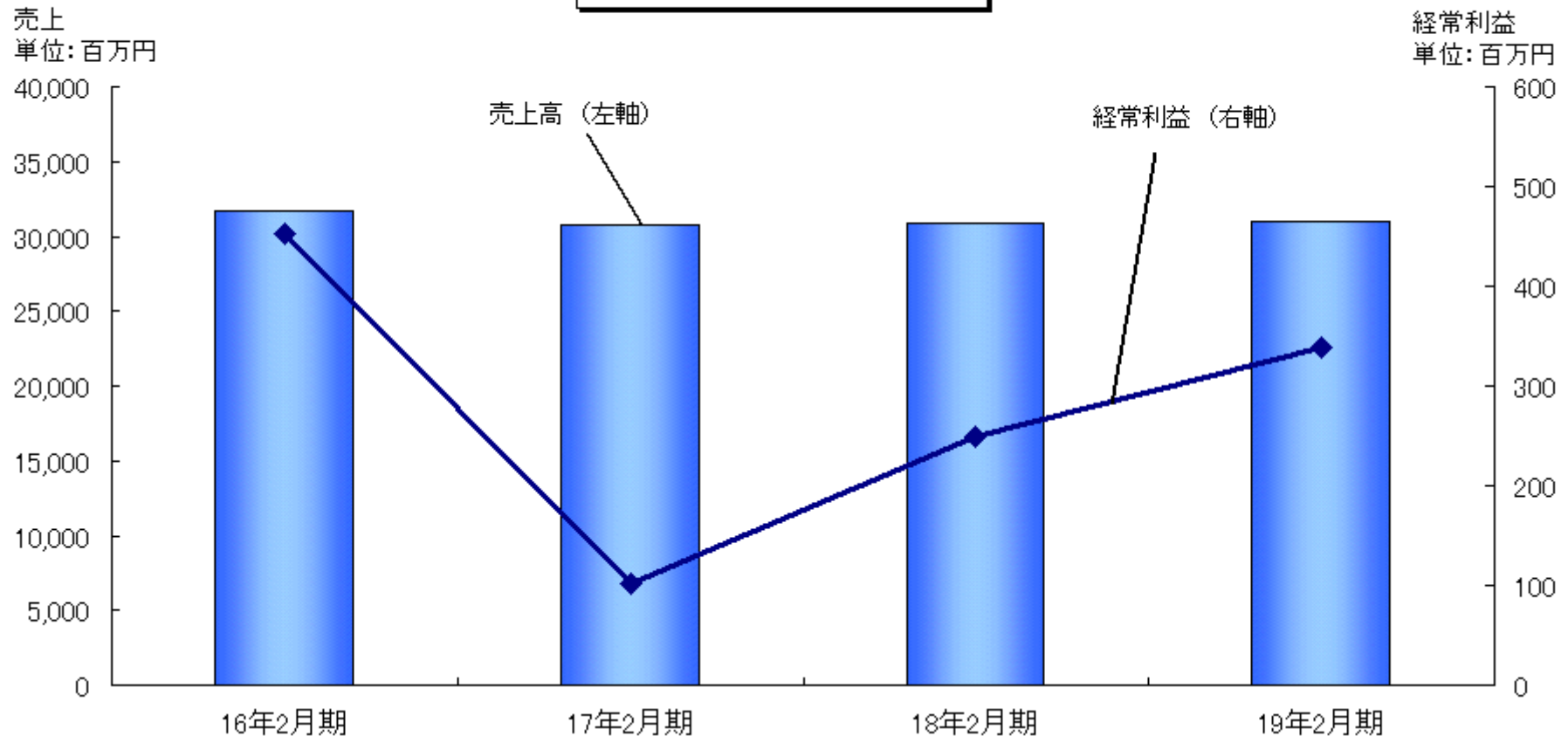
- (1) リビング (日用雑貨、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、ファミコン、100円ショップ、酒、たばこ)
- (2) カー・レジャー (カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー・自転車)
- (3) ペット&グリーン (園芸用品、ペット用品)
- (4) DIY (大工・エクステリア用品、リフォーム)
- (5) その他 (テナント、卸売)

平成19年2月期 売上・経常利益の推移（連結）

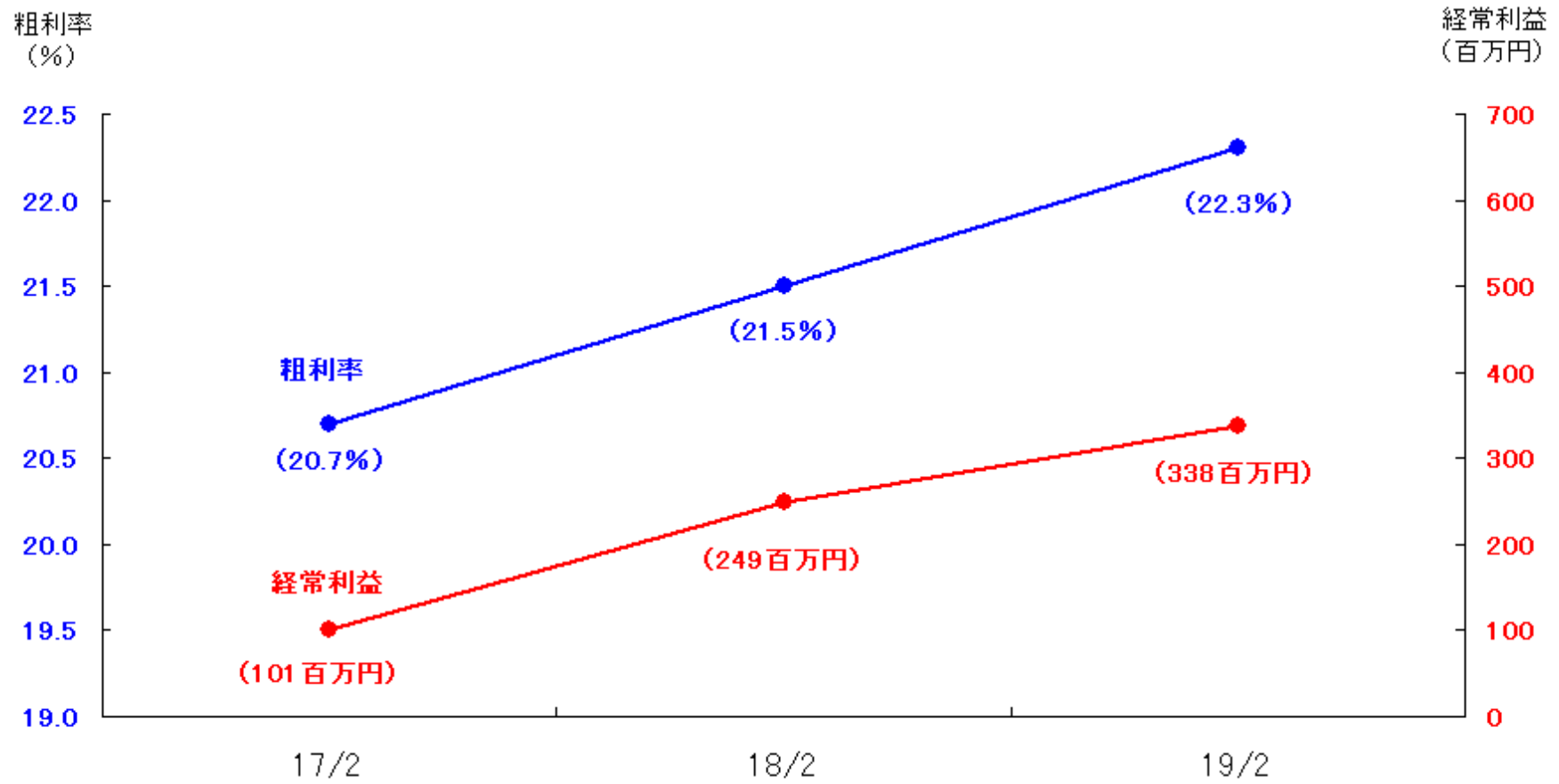
（単位：百万円）

	16年2月期	17年2月期	18年2月期	19年2月期
売上	31,697	30,717	30,934	30,967
経常利益	453	101	249	338

売上・経常利益の推移



粗利率・經常利益推移（連結）



損益計算書四半期推移（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期(18/3－18/5)			第2四半期(18/6－18/8)			第3四半期(18/9－18/11)			第4四半期(18/12－19/2)		
	当期	前期	前期比	当期	前期	前期比	当期	前期	前期比	当期	前期	前期比
売上	7,227	7,000	103.2%	8,053	8,009	100.5%	7,631	7,653	99.7%	8,054	8,271	97.4%
売上総利益	1,649	1,521	108.4%	1,688	1,649	102.4%	1,713	1,680	102.0%	1,868	1,784	104.7%
販管費	1,571	1,516	103.7%	1,546	1,526	101.3%	1,647	1,562	105.5%	1,787	1,761	101.4%
営業利益	78	5	1387.4%	142	123	115.4%	65	117	55.4%	81	23	350.1%
経常利益	77	10	726.6%	124	106	116.9%	55	106	51.5%	81	25	322.2%
当期利益	33	2	1638.8%	72	67	107.0%	34	52	66.5%	47	7	653.7%

平成20年2月期の展望

競合他社の進出も予測され、外部環境は一層厳しさを増していますが、品揃えの充実とお客さま重視の接客により既存店舗の活性化を図ります。今期の新店は、地域経済の状況から今期は見送ることとなりましたが、弘前樋の口店、八食店の本格的売場展開、ザ・サンワ柏店と業務スーパーの続伸により、前期を4%上回る32,200百万円を売上目標としています。

また、粗利率は23.0%(前期比0.7ポイント改善)、経常利益は前年比162.7%の550百万円を確保します。

来期の重点取組み課題

- ① 店舗を「大型店舗群」「中小型群」「業務スーパー導入店舗群」の3グループに編成し、それぞれの特性を生かした店づくりを行います。
- ② ザ・サンワ柏店の体験を他店にも水平拡大します。
- ③ 第二段階に入った粗利率改善に関しては値下げ圧縮、定番商品の強化、在庫削減等を進めます。
- ④ 社員のレベルアップを最重要戦略と位置づけ、OJT、offJTをすすめます。
- ⑤ 店舗計画の変更により、来期(中計最終年度)の主要係数を次のとおり見直しました。
なお、新店は来期(20年8月頃)2,000坪クラスの店舗を予定しています。

	見直後	当初計画
売上	33,300百万円	35,000百万円
経常利益	700百万円	1,070百万円

平成20年2月期業績予想

(単位:百万円)

	連 結				単 体			
	19年2月期		20年2月期 予想		19年2月期		20年2月期 予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	30,967	100.1%	32,200	104.0%	28,916	99.6%	30,000	103.7%
売上総利益	6,919	104.3%	7,430	107.4%	6,315	103.6%	6,800	107.7%
販管費	6,552	102.9%	6,880	105.0%	6,041	102.3%	6,300	104.3%
営業利益	366	136.0%	550	149.9%	273	144.4%	500	182.7%
経常利益	338	135.8%	550	162.3%	292	135.6%	500	171.2%
当期純利益	187	145.5%	280	149.1%	160	146.2%	250	155.7%

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。